
レイヤー3 インテリジェントスイッチ用拡張モジュール

AT-A35SX/SC

AT-A35LX/SC

AT-A39/T

AT-A42

インストールレーションガイド

安全のために

必ずお守りください

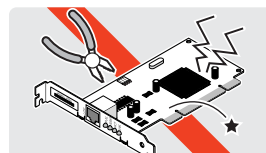


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物、水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水がかかったり、異物が触れないように注意してください。万一水がかかったり、異物が触れた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意

取り付け・取り外しのときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントに差したままでは、コンピューターに電気が流れています。感電の恐れがありますので、取り付け、取り外し作業を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。



プラグを抜く

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、シュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



光源をのぞきこまない

目に傷害を被る場合があります。
光ファイバーケーブルのコネクタ、ケーブルの断面、製品本体のコネクタなどをのぞきこまないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。)



シンナー
類不可

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。

アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright © 2003-2004 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOMはアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

本書の中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2003年 8月	Rev.A	初版
2003年 9月	Rev.B	第2版
2004年 7月	Rev.C	第3版

はじめに

このたびは、AT-A35SX/SC・AT-A35LX/SC・AT-A39/T・AT-A42をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、弊社レイヤー3 インテリジェント・スイッチの拡張モジュール用スロットに装着して、アップリンクポートとして使用するための拡張モジュールです。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、本製品を装着する製品本体のマニュアル、リリースノートもあわせてご覧ください。

各モジュールのメディアとポート構成は以下のとおりです。

AT-A35SX/SC	1000BASE-SX(SC)ポート× 1
AT-A35LX/SC	1000BASE-LX(SC)ポート× 1
AT-A39/T	1000BASE-T ポート× 1
AT-A42	GBIC スロット× 1

目次

安全のために	2
はじめに	5
目次	5
1 お使いになる前に	6
梱包内容	6
対応機種・ソフトウェアバージョン	6
拡張モジュール用スロット	6
2 外観とLED表示	7
AT-A35SX/SC・AT-A35LX/SC	7
AT-A39/T	8
AT-A42	9
3 取り付けかた	10
4 使用ケーブル	12
5 使用上の注意	13
6 仕様	14
インターフェース仕様	14
製品仕様	15

1 お使いになる前に

梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認してください。

- 拡張モジュール本体 1台
- 製品保証書 1枚
- シリアル番号シール 2枚
- インストレーションガイド(本書) 1部

対応機種・ソフトウェアバージョン

本製品の使用が可能な機種、およびソフトウェアバージョンは下表のとおりですので、ご確認の上、ご使用ください。

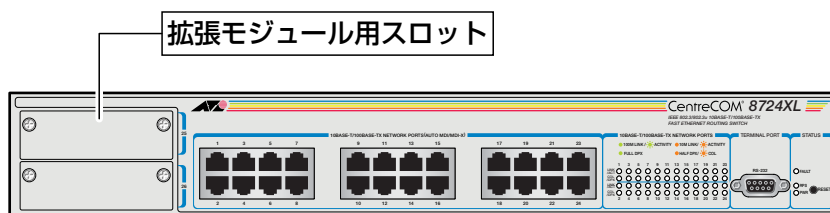
	AT-A35SX/SC	AT-A35LX/SC	AT-A39/T	AT-A42
CentreCOM 8624XL	2.1.3 pl00 以降 RevA1 以降	2.1.3 pl00 以降 RevA1 以降	2.1.5 pl02 以降 RevA1 以降	—
CentreCOM 8724XL	2.3.1 pl08 以降 RevA1 以降	2.3.1 pl08 以降 RevA1 以降	2.3.1 pl08 以降 RevE1 以降	2.5.1 pl06 以降 RevA1 以降
CentreCOM 8748XL	2.3.1 pl08 以降 RevA1 以降	2.3.1 pl08 以降 RevA1 以降	2.3.1 pl08 以降 RevE1 以降	2.5.1 pl06 以降 RevA1 以降
CentreCOM 9606SX/SC	2.2.2 pl04 以降 RevA1 以降	2.2.2 pl04 以降 RevA1 以降	2.2.2 pl04 以降 RevE1 以降	2.5.3 pl04 以降 RevA1 以降
CentreCOM 9606T	2.2.2 pl10 以降 RevA1 以降	2.2.2 pl10 以降 RevA1 以降	2.2.2 pl10 以降 RevE1 以降	2.5.3 pl04 以降 RevA1 以降

- ※ 上段：対応機種のソフトウェアバージョン
下段：拡張モジュールのハードウェアリビジョン（対応機種のハードウェアリビジョンではありません）

なお、対応機種が追加された場合、弊社ホームページの「製品」、またはデータシートでお知らせすることがあります。スイッチ本体のマニュアルとあわせてご確認ください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

拡張モジュール用スロット

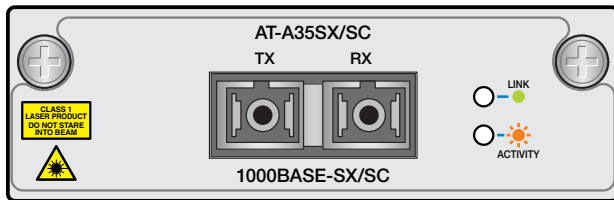


本製品を装着するための拡張モジュール用スロットです(上図は CentreCOM 8724XL)。標準装備では、カバーパネルが取り付けられています。カバーパネルは、拡張モジュールを装着するとき以外ははずさないようにしてください。

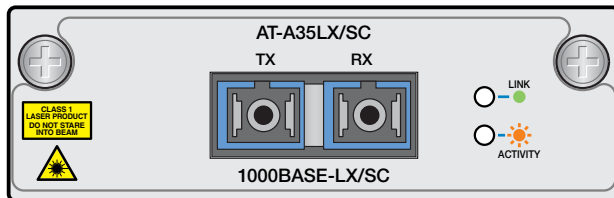
2 外観とLED表示

AT-A35SX/SC・AT-A35LX/SC

AT-A35SX/SCは1000BASE-SXポートを1ポート、AT-A35LX/SCは1000BASE-LXポートを1ポート装備しています。



AT-A35SX/SC
1000BASE-SXポート×1



AT-A35LX/SC
1000BASE-LXポート×1

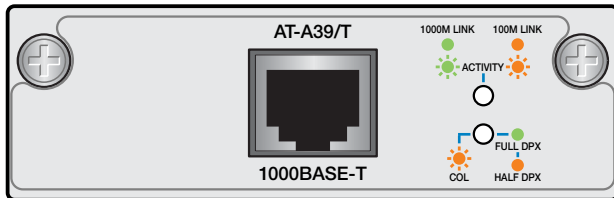
LED表示

LED		色	状態	表示内容
LINK		緑	点灯	リンクが確立しています。
		—	消灯	リンクが確立していません。
ACTIVITY		橙	点灯	パケットを送受信しています。
		—	消灯	パケットを送受信していません。

2 外観とLED表示

AT-A39/T

AT-A39/Tは、1000BASE-Tポートを1ポート装備しています。



AT-A39/T
1000BASE-Tポート×1

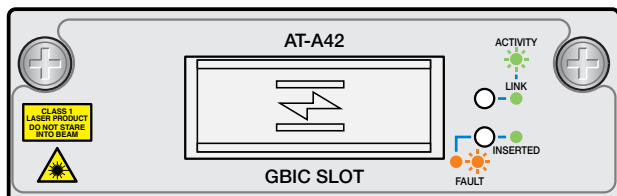
LED表示

LED	色	状態	表示内容
1000M LINK 100M LINK ACTIVITY	緑	点灯	1000Mbpsでリンクが確立しています。
		点滅	1000Mbpsでパケットを送受信しています。
	橙※	点灯	10/100Mbpsでリンクが確立しています。
		点滅	10/100Mbpsでパケットを送受信しています。
—	消灯	リンクが確立していません。	
FULL DPX HALF DPX COL	緑	点灯	Full duplexでリンクが確立しています。
		点滅	Half duplexでリンクが確立しています。
	橙	点灯	Half duplexでリンクが確立しています。
		点滅	コリジョンが発生しています。
—	消灯	リンクが確立していません。	

※ CentreCOM 8624XL 搭載時は、10/100Mbps での通信はサポートしていません。

AT-A42

AT-A42は、GBIC スロットを 1 個装備しています。



AT-A42
GBICスロット×1

LED 表示

LED	色	状態	表示内容
LINK ACTIVITY	緑	点灯	リンクが確立しています。
		点滅	パケットを送受信しています。
		消灯	リンクが確立していません。
INSERTED FAULT	緑	点灯	GBICが挿入されています。
		点滅	GBICに異常が発生しています。
	—	消灯	GBICが挿入されていません。

オプション(別売)

- AT-G8SX 1000BASE-SX
- AT-G8LX 1000BASE-LX
- AT-G9ZX 1000M SMF(90km)

i GBIC モジュールの取り付けかたや仕様については、GBIC モジュールのインストレーションガイドを参照してください。

オプションが追加された場合、弊社ホームページの「製品」、またはデータシートでお知らせすることがあります。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

3 取り付けかた

⚠ 拡張モジュールの取り付け/取りはずし作業は、必ず、電源ケーブルを抜いて、スイッチ本体の電源を切ってから行ってください。感電の恐れがあります。

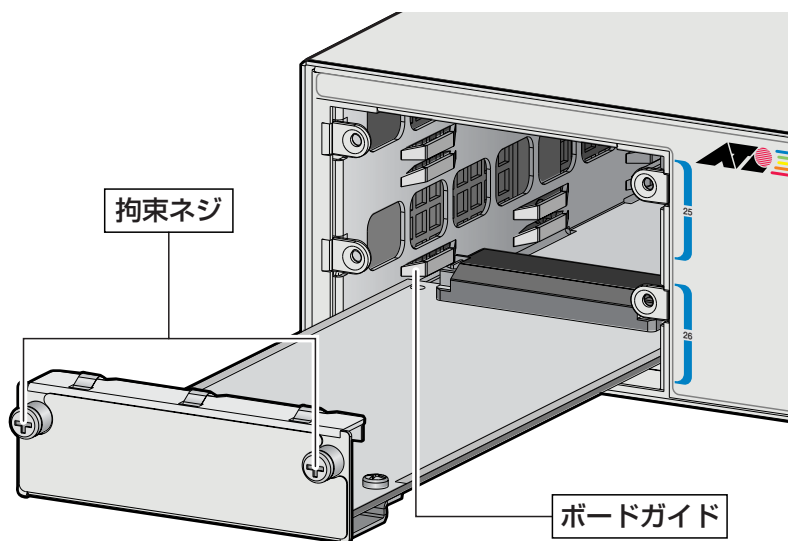
! 拡張モジュールは、静電気に非常に敏感な部品を使用しています。静電気によって、電子部品が損傷する恐れがありますので、取り扱いの際は、アースストラップを使用するなどの静電防止対策をして、ボード部分にはできるだけ手を触れないようにしてください。
また、保管するときは、拡張モジュールが梱包されていた静電防止袋に入れて、静電気のある場所を避けてください。

1 電源ケーブルを抜いて、スイッチ本体の電源を切ります。

2 スイッチ本体前面にある拡張モジュール用スロットのカバーパネルのネジをドライバーでゆるめて、カバーパネルをはずします。

3 拡張モジュールのボード部分を、スロットのボードガイドにそって差し込みます。

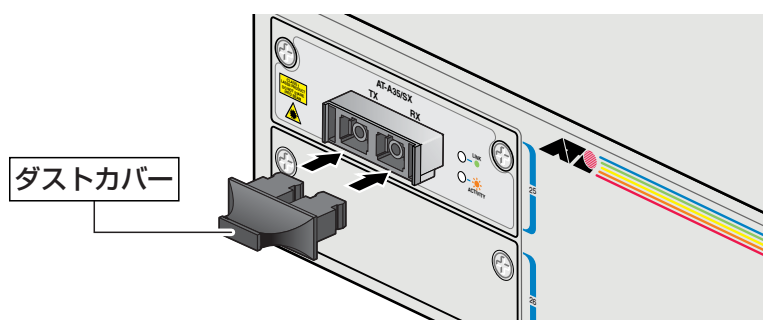
! ボード部分には手を触れず、拡張モジュールの前面パネルを持って作業してください。差し込むときに、ボード部分をスロットのネジ穴などに当てないように注意してください。



- 4 拡張モジュールの前面パネルがスイッチ本体の前面パネルとそろっ位置まで、拡張モジュールを押し込みます。
- 5 拡張モジュールの拘束ネジをドライバーでしめます。
- 6 以上で、拡張モジュールの装着が完了しました。電源ケーブルを接続して、スイッチ本体の電源を入れます。

拡張モジュールを取りはずす場合は、拘束ネジをドライバーでゆるめ、前面パネルを持ってゆっくりと引き抜きます。

! 光ポートには、ほこりなどからコネクターを保護するダストカバーが付いています。光ファイバーケーブルを接続していないときは、コネクターにダストカバーを付けておいてください。



4 使用ケーブル

使用するケーブル、伝送距離は次の表を参照してください。

AT-A42については、GBICモジュールのインストレーションガイドを参照してください。

ポート	使用ケーブル	最大伝送距離
1000BASE-SX (AT-A35SX/SC)	GI 50/125マルチモードファイバー (ITU-T G.651準拠)	550m (伝送帯域 500MHz・km時)
	GI 62.5/125マルチモードファイバー	275m (伝送帯域 200MHz・km時)
1000BASE-LX (AT-A35LX/SC)	シングルモードファイバー (ITU-T G.652準拠)	10km
	GI 50/125マルチモードファイバー* ¹ (ITU-T G.651準拠)	550m (伝送帯域500MHz・km時)
	GI 62.5/125マルチモードファイバー* ¹	
1000BASE-T (AT-A39/T)	10BASE-T* ² : UTPカテゴリ-3* ³ 以上	100m
	100BASE-TX* ² : UTPカテゴリ-5* ³ 以上	
	1000BASE-T : UTPエンハンスド・カテゴリ-5	

※ 1 マルチモードファイバーを使用する際には、対応するモード・コンディショニング・パッチコードを使用してください。

※ 2 CentreCOM 8624XL 搭載時は、10/100Mbps での通信はサポートしていません。

※ 3 弊社販売品のシールド付きカテゴリ-5 (ストレート) ケーブルにも対応しています。

1000BASE-SX/LX ポート

光ファイバーケーブルは2本で1対になっています。本製品のTXを接続先の機器のRXに、本製品のRXを接続先の機器のTXに接続してください。

1000BASE-T ポート

接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)にかかわらず、ストレート/クロスのどちらのケーブルタイプでも使用することができます。

5 使用上の注意

AT-A35SX/SC・AT-A35LX/SC について

AT-A35SX/SC・AT-A35LX/SC の使用中、通信に何らかの問題が発生した場合は、スイッチ本体を再起動するようにしてください。

AT-A39/T について

- CentreCOM 8724XL、8748XL、9606SX/SC、9606T について
通信モードの固定設定(オートネゴシエーション以外の設定)は、サポート対象外となっていますので、あらかじめご了承ください。
オートネゴシエーションの結果、10/100Mbps での通信は可能です。
- CentreCOM 8624XL
通信モードはオートネゴシエーションで、かつ1000Mbpsでの通信のみをサポートしています。付属のユーザーマニュアルに100Mbpsでの通信が可能であるとの記載がありますが、誤りですので訂正してお詫びいたします。

6 仕様

インターフェース仕様

1000BASE-SX/LX インターフェース(AT-A35SX/SC・AT-A35LX/SC)

2 連 SC コネクタを使用しています。

—		1000BASE-SX	1000BASE-LX
中心波長		850nm	1310nm
送信光レベル	最大	0dBm	-3dBm
	最小	-9.5dBm	-9.5dBm (SMF) -11.5dBm (MMF※ ¹)
受信光レベル	最大	0dBm	-3dBm
	最小	-17dBm	-20dBm
許容損失※ ²		7.5dB	10.5dB (SMF) 8.5dB (MMF※ ¹)

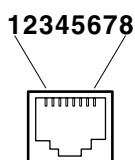
※ 1 マルチモードファイバーを使用する際には、対応するモード・コンディショニング・パッチコードを使用してください。

※ 2 同一製品を対向で使用した場合です。

SMF：シングルモードファイバー MMF：マルチモードファイバー

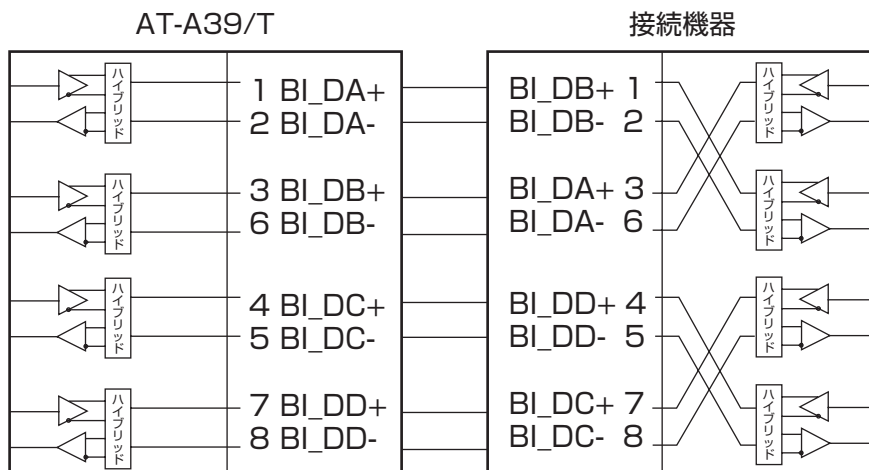
1000BASE-T インターフェース(AT-A39/T)

RJ-45 型のモジュージャックを使用しています。



コンタクト	MDI	MDI-X
1	BI_DA+	BI_DB+
2	BI_DA-	BI_DB-
3	BI_DB+	BI_DA+
4	BI_DC+	BI_DD+
5	BI_DC-	BI_DD-
6	BI_DB-	BI_DA-
7	BI_DD+	BI_DC+
8	BI_DD-	BI_DC-

ケーブルの結線は下図のとおりです。



製品仕様

準拠規格	
AT-A35SX/SC	IEEE802.3z 1000BASE-SX
AT-A35LX/SC	IEEE802.3z 1000BASE-LX
AT-A39/T	IEEE802.3 10BASE-T* ¹ IEEE802.3u 100BASE-TX* ¹ IEEE802.3ab 1000BASE-T
通信速度	
AT-A35SX/SC	1000Mbps
AT-A35LX/SC	1000Mbps
AT-A39/T	10Mbps* ¹ /100Mbps* ¹ /1000Mbps
通信モード	
AT-A35SX/SC	オートネゴシエーション/Full duplex固定
AT-A35LX/SC	オートネゴシエーション/Full duplex固定
AT-A39/T	オートネゴシエーション
最大消費電力	
AT-A35SX/SC	1.9W
AT-A35LX/SC	2.2W
AT-A39/T	3.7W
AT-A42	3.8W* ²
最大発熱量	
AT-A35SX/SC	7.1kJ/h
AT-A35LX/SC	8.0kJ/h
AT-A39/T	13kJ/h
AT-A42	4.9kJ/h* ²
環境条件	
動作時温度	0~55℃
動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
保管時温度	-20~65℃
保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法	
	81.0 (W) × 127.0 (D) × 25.5 (H) mm
質量	
AT-A35SX/SC	90g
AT-A35LX/SC	90g
AT-A39/T	90g
AT-A42	105g

※ 1 CentreCOM 8624XL 搭載時は、10/100Mbps での通信はサポートしていません。

※ 2 AT-G9ZX 搭載時

